

第 18 回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
環境整備・P T A・コミスク部会（会議録）

会議の名称	第 18 回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会 環境整備・P T A・コミスク部会
開催日時	令和 7 年 6 月 5 日（木） 午後 8 時 10 分から
開催場所	岩村コミュニティセンター 1 F 和室
議題	部会長の選出について
報告	課題 N o . 13 「部活動に関すること」について
公開非公開の別	公開
出席者	委員 渡邊 康正 安藤 常雄 三宅 勝彦 後藤 純一 伊藤 寛隆 片桐 慎一 中村 光代 長谷川 一行 園原 正明 伊藤 裕美 高橋 かおり 後藤 理恵 藤井 幸 松下 文博 大石 佐緒理 安藤 美香子 教育委員会 丸山 頼彦 市川 太一 小栗 研 大内 鉄平 小野 千恵実 長谷川 棕
会議の内容	会議録のとおり
傍聴者の数	0 名

事務局司会 皆様、お疲れのところありがとうございます。

では、ただいまから第18回の環境部会を開催させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

では、また次第に沿って進めさせていただきますが、まず、お手元の資料をご確認いただきます。机上にレジュメ、それから今年度の環境部会の皆さんの名簿を置かせていただいております。本来でありましたら、皆さんに自己紹介いただきたいところですが、ちょっと今、夜も更けてまいっており時間の都合もございますので、書面の配布をもって代えさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

では、まず初めに、環境部会の事務局リーダーよりご挨拶させていただきます。よろしくお願いいたします。

事務局リーダー 改めまして、皆様、よろしくお願いいたします。今回この部会のほうですけれども、年度が替わったということで、何名かの方、新しい方に部会にお入りいただいております。私どもの部会、こういう形でグループ討議をする形を主流とさせていただいております。今回このような和室でしたので、ちょっと会場がなかなかうまくつくれなかったんですが、こういう形で今後も継続させていただきながら、なるべく意見が出やすいような進め方をやらさせていただきたいと思っております。どうか皆様、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

事務局司会 ありがとうございます。

では、式次第の2番のほうでございますが、部会長の選出とありますが、昨年度末をもって、それまでのこの環境部会の部会長さんが退任されていらっしゃいますので、今、部会長さんが不在という状態でございます。ですので、この場で新たに部会長さんを選出したいというふうに思っておりますが、何か選出方法、それから選出者についてご意見等ある方いらっしゃいましたら、挙手をお願いいたします。はい、では副部会長さん、お願いいたします。

副会長 これ最初のときもそうだったんですが、地元の山岡の自治区の会長さんをお願いしたという経緯もございますので、今度はまた前部会長さん以上に若くてできる人が見えましたので、ぜひぜひ渡邊さんをお願いしたいというふうに思いますので、推薦をしたいというふうに思います。よろしくお願いします。

事務局司会 ありがとうございます。ほか何かご意見ありましたらお願いいたします。

今、渡邊さんをご推挙する意見がございましたが、皆様、よろしいでしょうか。では、ご賛同いただける方は拍手をお願いいたします。（拍手）ありがとうございます。賛成多数と認められますので、新部会長には渡邊さんを選出とさせていただきます。渡邊新部会長様、どうぞ、よろしくお願いいたします。では真ん中のほうへよろしくお願いいたします。

では、ちょっと突然ではございますが、新部会長さんから一言ご挨拶を頂きたいと思います。

新部会長 お忙しい中、本当に皆様、お疲れのところご苦労さまでございます。私、こういう形で部会長というお話でございますが、実は本当に、令和4年からですか、

始まっているような状況の中で、なかなか内容についても理解しづらいところがございますが、一生懸命勉強しまして、新しい南中学校に向けてしっかり取り組んでいきたいと思いますので、よろしくお願いします。（拍手）

事務局司会 足、苦しい方も崩してください。結構でございますので、お願いいたします。では、続きまして3番の報告に移らせていただきます。事務局より説明をさせていただきます。

事務局 失礼します。資料、お手元にありますでしょうか。

昨年度、第9回の環境部会で総会に向けてまとめた案を出しまして、そこで承認された部活動に関するまとめたものがあります。それを受けまして、学校統合の実務を担う5校の中学校長によって部活動案を作成されたものを事務局で受けて、こういった形でまとめてありますので、そちらを御覧ください。

ここに至るまでには、まずこの環境部会で新しい中学校の部活動をどうしていくのか、そういったところの検討から始まりまして、やはり恵那南中学校に入ってくる子供たちにまずアンケートが必要だろうと。それから、今5つの中学校で行っている部活動は継続してほしいな。それから、今現在なかなか恵那南の5つの学校以外もそうなんですが、平日の部活が今ほとんどなかなかできていない現状があります。それから土日に関しては、今、恵那市内全てが地域クラブを中心としながらの、部活動としては今開催していないという状況があって、初めてこの部会に参加されている方は、学校の中学校の部活動が自分たちがやっていた頃とは随分さま変わりをしているというところをまずご理解いただく中で、こういった議論が進んできたということと一緒に知っておいていただきたいなということを思っておるんですが、現状としましては本当に恵那市内の学校、週1回何とか部活ができるかどうかという現状ということと、それから1回の部活動も、短い日ですと2、30分ぐらいで1回の活動が終わってしまうというような現状があります。そんな中でも恵那南中学校ができたときには、例えば串原中学校では今現在1つの部活動、卓球の部活動、1種目です。そんな状況から、子供たちの数が増えることで部活の選択ができるということに楽しみを持っている子供たちもいると。それは他校も同じ状況です。そんなことを少しでも実現できるような形でこの環境部会で素案を作って、5つの中学校の校長先生方に案を作ってもらった上でこちらで持ってきたということをご理解いただきたいなということを思っています。

前置きが長くなりましたが、この表にありますまず上段の四角のところを御覧ください。

部活動設置についてということで大きく4つあります。

1つ目は、運動系に加えて文化系部活動を複数設置できるようにしてほしいということ、それから2つ目として、部活動数は近隣同規模校、西中や東中学校と同程度を設置してほしいということ、それから部活動が増えるということと現在の山岡中学校の下にあります山岡B&Gを活用できないかということ、そういったことから、③番ですが、地域の特性や子供たちのアンケート結果を加味した部活動を設置してほしい。事前のアンケートでは、小・中学校ともに、

バドミントン、バスケットボール、家庭科、こういったものが人気が高かったという結果が出ました。

それから次の米印です。本アンケートはというところを書いてありますが、実際子供たちが本当に入ろうとしたときにはまたこの数値が変わってくる可能性もありますので、これを全て信じてつくっていくというのはなかなか難しいところですので、恵那南中学校の環境ですとか、先生方の意見を取り込みながらということになっていきます。

そして④番、部活動の任意加入については、自分の可能性を広げるためにやってほしいということで、部活動が強制加入という形ではないということをごちらのほうでまとめました。

そして活動日についてですが、先ほど申したようなところがここに盛り込まれています。

そしてその他として、ここも先ほど申したところですが、今ある中学校の部活動はそのまま残せるように、それからそれに加えて新しい部活動ができますので、2・3年生になったときには改めて部活動を選択できるような環境にしてほしい。そういったことがここでまとめたものです。

では裏面を御覧ください。

こういった環境部会のまとめを受けて、校長先生方に考えていただき、事務局のほうでまとめた案ということになります。

まず上段に、部活動の目的とありますが、ここには学校の部活動というのは、こういう目的でそもそもありますよということが学習指導要領にうたわれていますが、そこの文言を引っ張ってきているものですが、こういったところから学校部活動は学校の管理下で学校教育の一環として教育課程と関連を図った指導を行う活動ということで、ぜひこれを続けていきたいということ。それに加えて、恵那南地区では、運動や文化活動を楽しむということ、それに加えて、学年を超えた仲間意識を育てる、そういったことをこの部活動の目的としていきたいなということなのです。

一方で、休日については、地域クラブを今中心に活動が行われていますので、各種大会には地域クラブ単位で参加していくことになってきていますし、今、中体連の大会もさま変わりをしてきておりまして、学校単位ではなく地域クラブでの大会参加が可能になってきています。これはただ、種目ごとによって規定がいろいろ違いますので、一概にはちょっと言えないのですが、そういった方向性になっていますので、とにかく学校の部活動としては、子供たちの生涯スポーツといった観点から、楽しみながらそういった活動ができること、仲間づくりを大切にしていくということを目的とされえています。

続いて、部活動の活動方針案ですが、こういった目的を受けて運動や文化活動を全生徒が楽しむと位置づけた部活動を行います。

そして2つ目、平日週2、3回、30分程度の時間確保を基本とします。ただ、子どもたちの実態を見ながらですが、状況に応じて最大45分までは活動時間を確保できるような今案を練ってもらっています。30分と45分、たった1

5分なんです、学校の今の教育活動の中ではこの15分を生み出すのがなかなか大変なこととして、状況によっては掃除の時間をカットするとかいうことで対応していくということです。

また、丸の3つ目、冬期の日課については、部活動がほとんど行えない実態があります。恵那南中学校になりますと、帰りのバスの時間もありますので、子供たちがバスに乗って帰ってそこから自宅まで歩いていくときに、少しでもこう明かりがといいますか、あまり暗くならない時間にということを考えますと、下校時刻が早くなっていくわけですが、そんな中でも子供たちの状況に応じて部活ができるような日程も今案として考えてもらっています。状況に応じて短縮日課、1時間の授業、中学校では50分授業なんです、それを45分授業として生み出した時間で部活動を行うということも案として考えています。

それから丸の4つ目です。長期休業中の平日部活動は実施しないということです。これも現在の恵那市内の学校も今こういった状況なんです、特に夏休みなどは熱中症対策で、学校に来るまでの間に本当に熱中症の危険があること、それから実際に学校に来たとしても、夏期休業中だと今はWBGTの測定がありまして、この数値が規定以上に超えると運動を中止しなければならないということがあります。そういったことから、夏休みの部活動は命の危険もあるということなかなか難しいであろう。冬休みについても、凍結の心配もありますし、実際運動部、外での活動はなかなか厳しい状況もありますので、長期休業中は今のところ実施しない方向で考えております。

そして丸の5つ目です。部会では、任意加入をということで提案をしておったところですが、今の案としては全員加入を原則と考えています。これは下校時間を統一していくということが一つありますし、これまで我々が中学校時代に行っていた部活動とは、目的が楽しむこと、それから先輩後輩の異学年との交流を大事にしながらということ考えたときに、できる限り子供たちには何かの部活に入ってもらって活動を楽しんでもらいたいという願いが込められています。

そしてその次です。試合や大会には恵那南中としての部活動としては参加をしていかない方針で考えているところです。当然これは地域クラブとの兼ね合いが一番大きいところですが、現在、学校部活動では試合参加する場合は中体連の大会のみになっています。それ以外の協会主催の大会には、今現在既に各クラブからの参加となっています。数年前から中体連においても地域クラブの参加が認められるようになってきて、今は過渡期の状況です。そういったことも加味して、この中体連に向けて試合参加をどうしていくのかということとは、当然これからも議論が必要なんです、現状としては、恵那南中学校は基本楽しむ活動をメインとしていくということで、大会参加に重きを置いていかないということで今方針を考えているところです。

その下のところ、ボール、得点板等々の備品は学校で当然用意していきます。グローブ、ラケットなど個人で使用するものは個人で用意をします。これはこれまでの部活動と同じです。

そして最後の丸です。部活動の希望は毎年取ることとして、単年度で変えることができるというふうにしました。特に統合時は、自分が想像していなかった、「あの部活も楽しそうだな、あの部活も」なんていうことで気持ちが揺れ動く時期でもあるかと思いますので、ただ、ころころ変わるとなかなか把握も大変ですし、なかなか仲間意識というところも難しいので、今案としては1年単位で変更も認めていくという方針を考えているところです。

続いて部活動の案です。実際の種目です。運動系は8種目、文化系を4種目と考えています。

その右側のところに新規に丸がついているところが今の恵南の5中学校にはない部活動に丸をつけてあります。活動場所と人数の目安というのが入っておりますが、こういった部活動をつくることで、どの生徒もどこかには魅力を感じて入ってもらえるんじゃないかということで、今案として考えています。

特に恵那南地区にある今の5つの中学校では文化系がありません。今年度、岩邑中学校が2つほど文化系をつくって今活動を進めているというふうに聞いておりますが、ニーズとしてはやっぱりこの家庭科、美術、音楽というところがニーズは高いですし、一番下の頭脳ゲームというのは、将棋とかオセロとか、そういったボードゲームも楽しみながら仲間意識を育む一つの手だてでいいんじゃないかということで案として考えてもらっているところです。

最後、今後の予定です。学校説明会が秋頃予定されていますので、ここで全保護者に対してこの部活動の種目について説明をしていく。それを受けた後に子供たちに部活動の希望調査を取り、その希望調査を基に必要な備品等を考えていくということになります。初年度ですので、こちらが予定していた当然ニーズの目安から大きく変わることもありますので、そうなった場合に初年度いきなり休部ということも可能性としては出てくるかと思いますが、基本的にはこの運動系8、文化系4つで考えていけたらなということで、案として提案をさせていただきます。

以上です。

事務局司会 ありがとうございます。今の課題13番の部活動に関することにつきましては、この環境部会で様々な議論を頂きまして、その後、理事会、それから総会の承認を頂いて、実際に現場でこれらの指導をしていただきます先生方にご議論いただいて、実際の現実的な計画を練っていただいておりますと、こういう状況であるということで、今、報告をさせていただきました。

何かここで、ちょっとこれ聞いておきたいななんていうことがありましたら、頂きますが、何かございますか。

事務局 グループにしよう。グループ討議で。そのほうがいろいろ聞きやすいので。

事務局 分かりました。では、今日長い時間かかっていますので、遅くても9時には終えたいなとは思っております。いろんなご意見をグループごとでお話ししたほうが、より意見が出しやすいかなと思いますので、ちょっとグループごとでこれから進めさせていただきたいと思います。お時間を20分間にまずさせていただきますので、よろしくお願いしたいと思います。

では、いつものように事務局の者も入りまして、今説明あったが分からないなども踏まえながら、話し合いをしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

グループ討議

事務局 そろそろいい時間になってきましたので、どうしましょう。こんなほうがいいよというような話が聞けたかと思しますので、ちょっと代表して、例えば僕、今中学校グループのほうにおったんですが、こういう説明もより加えると分かりやすいよねとか、こういうことの場合はちょっといろいろ考えなきゃいけないので、そこはもうちょっと説明を付け加えてねとかいうようなご意見が出ていたものですから、そういうのは多分ここでまたフィードバックできると思いますので、ちょっと多分そのようなことがあると思いますので、順番に中学校グループのほうから話してもらってもいいですか。

中学校グループ 様々な意見が出ましたが、やっぱり今後全ての保護者の方へ説明するに当たりましては、部活をしても、しなくても、下校時間は一緒だよということを全面的に説明をしていくべきではないかという意見もありました。

また、授業の時間を5分削ってとか、掃除や昼休みの時間を削ってひねり出している、時間を生み出しているということも一緒に付け加えていくべきではないかということもありました。

また、下校時間ですが、じゃあ一体何時に帰る、冬は何時、夏は何時、そういった時間割、実は時間割は今、教育部会で検討しているということを言われましたので、そういったことははっきりさせて、うちの部会でもそうですし、周知した上で説明をしていったほうがより説明が分かりやすいのかなという意見が出ました。

事務局 では小学校グループお願いします。

小学校グループ クラブ活動、部活動以外に地域クラブというものがどうしても対象的に出てくるわけですけど、部活動を考える際に地域クラブも当然視野に入れて子供たちは選択をしていくだろうということで、どんな地域クラブがあるかということを経済早い段階で教えていただけると、部活動の選択の際にも一つの知恵になってくるかなということをご意見いただきましたので、ぜひ地域クラブの一覧表みたいなものを早いうちに保護者の皆さんにお知らせできるような形にさせていただけるといいなといったご意見が出ました。

それから、たくさんのクラブがありますけど、実際には場所というのは非常に限られておりまして、全て十分な部活動をするというのは、実際には物理的にも難しいところがあるかもしれないねというようなご意見が出ましたが、実際に走り出してみても、いろいろ工夫をしながら、学校のほうで運営していただきたいねというようなご意見を頂いたところでございます。

以上でございます。

事務局 ありがとうございます。こども園グループ。

こども園グループ 一番話題になったのは、30分という時間がやっぱり短過ぎやしないかというところで、例えば週に3回の30分ではなく、週1回で50分程度、1時間程度ということは可能なんだろうかというご意見もありました。それから部活動の案として、今の子供たちが文化系に多く入ってくる可能性も出てくるんじゃないかな、そんなときにこの案が子供の実際の希望に沿って少し変更があるのかなんていうことも意見としては出ました。それから西や東、南中と同規模になる学校の今の現状を教えてもらえると、これがやっぱりぎりぎりの時間設定なのかなということも見えてくるし、子供たちが実際にどんなふうに西や東で部活動に取り組んでいるのかということちょっと説明してもらえると理解が進むんじゃないかというご意見も頂きました。以上です。

事務局 ありがとうございます。

どこのところも、この案をベースに、今言ったことも少し加えて、より説明、理解、分かりやすいようにしていけないのかなというようなご意見をもらったかなと思いましたので、それをまたまとめたものを、この校長部会のほうにも投げ返して、より分かりやすいものにしていくという、そういうことですよね、今の話としては。よろしいですかね。

委 員 自分の意見とほかのチームの意見を聞いて思ったところなんですけど、ここで思ったのが、今までの部活動という感覚で親がいたら全然感覚的に追いつかないというところがあるんです。部活動という言葉をいっそなくしちゃって選択授業みたいな……。

事務局 確かにね。親世代は部活動イコール、ここで言っている部活動とちょっと違うというのが理解できない。

委 員 あまりにもかけ離れ過ぎちゃっている。

事務局 本当に。確かにそれも一案かもしれない。どうでしょうか、そういうの。

事務局 授業とつくと、これが教育課程の中に入っておるので、教育課程外の活動なので、その辺の新しい名前を何か考えるのも一つかもしれませんが、今、地域クラブのほうは市の地域クラブ、保護者クラブを事務局となるような市のまとまりを今考えていて、そこも今、「市地域クラブ」という仮称なんですけど、堅苦しいので、もうちょっとなじみやすいような名前をなんてことを考えているところなので、確かにこの部活動はいいネーミングがあると面白いかもしれないですね。

事務局 ご提案ですので、もちろん、確かにここで皆さんは、ただいま説明したものはご理解いただけるけれども、それもなかなかかなと思いました。ちょっとそこもより分かりやすくというふうにするための工夫なんかを考えないといけない。

委 員 すみません。さっき私、先生から聞いたんですけど、原則全員加入というんですけど、やっぱり子どもの特性上、集団が難しいとか、ほかに自分が特別やっているスポーツがあるから、ちょっと個別に対応してほしいという人もそれは可なんじゃないのかっていうふうに先生からも言われているので、そこはできれば、ここで原則で入るとするとそれだけでプレッシャーに思うような人もい

るかもしれないので、そこは説明として入ってもらえるとちょっと安心かなっていう。もちろん保護者が個別対応が要るってことも説明の上ですけど。

事務局 そうですね。その表現が必要ですね。

何かほかに。よろしいですかね。では、今いろいろご提案いただいたことをフィードバックしていった、整理をさせていただきたいと思っております。基本的にこういうまず大きくは、まず最初に示す部活動の種類と基本的な流れをこういうふうにまとめたってことでこれを生かさせていただくということプラス、今日出たご意見を加味して説明し、より分かりやすく、いろんな人にも配慮してということにまとめさせていただきますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

では、ちょっとあとはお知らせ事項になりますので。

事務局司会 4番の連絡事項でございます。

いつもですと、ここで次回の部会という話をするわけですけど、この環境部会に残っている課題は、学校運営協議会の話と、あとPTAの組織の話でございます。PTAの組織のほうは、皆さんからご意見いただいて、検討チームを立ち上げました。第1回の会議が先月行われたところで、第2回の会議が6月の16日に行われます。PTAの課題につきましては、こちらの検討チームの案がまとまった段階で皆様にまた報告させていただいて、またご議論いただきたいというような流れになりますので、ちょっと今の段階では次回いつですというお話がまだちょっとできないところです。ですので、次回の開催についてはまた改めて手紙でお知らせをさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 今の説明で大丈夫ですね。ありがとうございました。

委員 通学路安全推進協議会の件は。

事務局 そうですね。

委員 通学路の安全対策も含めて、今日の総会で一応承認ということですよ。

事務局 そうですね。他に何かありますか、今、ご意見を頂きますが。

委員 例えば地域で話があったんですけど、そういう通学路に対する、前アンケート出しましたが、指定管理がどうこうという、通学距離があることも保護者は知らない人もいますよ。すぐ出てくると思うんですけど、そういったことがここしか入れるところがないのかなと思って。

事務局 ありがとうございます。今日ちょっと説明が漏れていたかもしれませんが、実際にこの後、統合の中学校に入られる方、入学説明会、保護者説明会というのが行われます。その中で今おっしゃられた、例えば地域の通学路で危険なところがあつたら学校のほうにお知らせくださいという、こういうお話をさせていただきます。そうしますと、今、お話にでました通学路安全推進協議会の中で話し合われて、優先順位をつけて、当局のほうに要望として上がってくると、こういうシステムになっておりますので、これは保護者説明会でもう一回お話をさせていただきますので、その流れの中で地域の不安であるとか、危険な箇所のご報告を頂くというような流れになっておりますので、よろしくお願いいたします。

委 員 このP T Aの組織づくりの報告なんですけど、環境部会にはどのタイミングで報告されますか。

事務局 今私が思っているのは、以前、環境部会でP T A活動について4つの課題にまとめていただいたんですね。P T Aのことを考えたときには、こういうことをまとめていかないといけないよねと。その4つの課題について、検討チームで今検討しています。その4つの課題について、検討チームの案がまとまった段階でこちらのほうに諮りたいと、このように考えています。

委 員 それだと、今やっているやつが、秋の保護者説明会までに規約までつくるっていう今話になっているじゃないですか。ということは、それまでにこちらのコミスクのほうに諮ってという形になるんですか。

事務局 はい、そう考えています。

委 員 分かりました。

事務局 よろしいですかね。

では、次回の会議はまた手紙でご案内させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日はお疲れさまでした。どうもありがとうございました。